

## 野外体験教育プロジェクト報告

大河原 清\*

(2005年2月7日受理)

平成16年度は、「姫神山登山」を実施した。平成16年6月5日(土)の日程は以下の通りであった。

- 7:00 岩手大学第二体育館前集合(学生)
- 7:50 岩手大学出発
- 9:00 登山口到着・準備運動
- 9:30 登山開始
- 11:50 頂上1123.8m到着
- 12:20 昼食・写真撮影
- 13:30 下山開始
- 16:30 下山完了
- 17:45 大学到着・解散

参加人数は大学生25名、小学生46名、引率教員2名の計73名であった。大学生の内訳は初期ゼミ受講生13名、教育実践研究Ⅰの受講生4名、大学院生1名、その他センター所属学生3名、特別支援のための参加学生4名であった。引率教員2名のうち1名は現地に詳しい地元の方をお願いした。

班の編成は5つであった。初期ゼミではレポートの書き方を指導したので、全員が登山についての報告を提出した。その中の一人の学生の立てた登山目標は次の通りであった。

- 1 小学生との交流により、自己の責任意識を高める。
- 2 教師としての実践的指導力を身につける。
- 3 初対面の人たちと共に活動することにより、子供たちの協調意識の向上をはかる。
- 4 自然の素晴らしさを知ってもらう。
- 5 活動を通して自分自身の心の成長をはかる。

今回の登山では、小学生が足をつってしまったとか、力が入らない、捻挫に近いといった程度の者(以下、捻挫者)が5人ほど出てしまった。このため、大学生8人と教官1人とで別グループを編成し遅れて下山し、残りの者を先に下山させた。後から全員で助け合って下山した方が教育的かと反省はしたが、大人数であり、一考の余地があった。先の目標を立てた学生の感想にも、「怪我人をみんなまで助け合うことを学んでもらうために、怪我人と一緒に行動するのも良い方法ではないだろうか」と述べていた。また末尾で、「姫神登山を通して、小学生と直に触れ合ったことで、改めて先生になりたいという気持ちが強まった」と述べていた。

以上の登山のほかに、2005年1月29日の予定で「藤沢町大籠地区(キリシタン殉教跡地)」を訪問して、地元歴史探訪の参加者募集を、地元の高校生を対象に市内高校10校を訪問してチラシの配付を2004年12月13・14日をお願いした。締切日の2005年1月10日迄の応募者は1名であった。1月29日の実施は見送ることとした。

---

\*岩手大学教育学部